

# 道徳教育全体計画

佐世保市立吉井南小学校

## 〔学校教育目標〕

「目標の達成に向けて主体的に学び、自分のよさを高め、力を伸ばしていく子どもの育成」

## 〔めざす児童像〕

- 思いやりのある子(礼儀正しく、思いやりのある言動ができる。)
- 進んで学習する子(学力向上を感じ、喜ぶ。)
- たくましい子(しなやかに、強かに困難に挑む。)

## 〔児童の実態〕

明るく素直な子どもたちである。やさしい子も多く、協調性もあるが、基本的な生活習慣が身に付いていない子、心身のたくましさや主体性が不足している子が多い。

## 〔学校の実態〕

1 学年 1～2 学級で、児童数は減少傾向にある。

## 〔家庭・地域の実態〕

転出入が少ない地域だが、学校教育に対する関心はあまり高くない。

## 〔社会の要請〕

- ・心の教育の充実
- ・自己教育力の育成
- ・伝統文化の尊重と国際理解の推進
- 〔保護者・教師の願い〕
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・主体的に実践する子
- ・基本的な生活習慣が身に付いた子

## 〔各教科における道徳教育〕

各教科の目標達成の中で、課題をやりぬく態度、自ら学ぶ姿勢、協力して学びあったりする姿勢を培う。

【国語】 表現力・豊かな心情

【社会】 郷土を愛する心  
公民的な資質

【算数】 合理的に追求する態度

【理科】 生命の尊重、自然愛護

【生活】 自立への基礎

【音楽】 美的情操・崇高さ

【図工】 美的情操と創造性

【家庭】 家族の一員としての役割

【体育】 健康・安全

集団のルール

## 〔家庭・地域との連携〕

- 学級・学年・学校・PTA・その他の機関との連絡連携を密にする。
- 道徳授業等の公開や懇談会を開き、情報を開示する。
- 学校評議会やPTA等を通じ、地域の各種団体や保護者代表等との「地域懇談会」を開き、「子どもの心を育てる」共通の土壌づくりを図る。
- 地域においては校種別に学校間の連携・連絡会を密にし、交流を図る。

## 〔道徳教育の重点目標〕

- 1 思いやりの気持ちを持って言葉を遣い、誰にでもやさしくする子どもを育てる。
- 2 よく考え、自分の力で判断し、約束やきまりを守って行動できる子どもを育てる。
- 3 かけがえのない生命を尊重し、健康・安全に心がける子どもを育てる。

## 〔各学年における指導の重点〕

### 【低学年】

- 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。 **(B-6 親切, 思いやり)**
- 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。 **(C-10 規則の尊重)**
- 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。 **(D-17 生命の尊さ)**

### 【中学年】

- 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。 **(B-6 親切, 思いやり)**
- 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと **(A-5 希望と勇気, 努力と強い意志)**
- 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。 **(D-18 生命の尊さ)**

### 【高学年】

- 誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること。 **(B-7 親切, 思いやり)**
- より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。 **(A-5 希望と勇気, 努力と強い意志)**
- 生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。 **(D-19 生命の尊さ)**

## 〔道徳の時間〕

学校の教育活動全体を通して行われる道徳教育と密接な関連を図りながら、その要として、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考え方を深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

○自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実する。

○ねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れるなど、指導方法を工夫する。特に、指導過程における発問と応答内容の吟味を大切にする。

○児童が、自らをふり返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるように工夫する。

## 道徳的実践の日常化

## 〔豊かな体験〕

- 【ふれあい体験】 歓迎集会・歓迎遠足・縦割り活動・お別れ集会など
- 【自然体験活動】 農業体験・理科・ふるさと体験など
- 【集団宿泊活動】 宿泊体験学習・修学旅行など
- 【文化芸術体験活動】 ふるさと先生・人権集会・音楽発表会など

## 〔教育関係法令等〕

- ・日本国憲法・教育基本法
- ・学校教育法・学習指導要領
- ・県市教育方針

## 〔特別活動における道徳教育〕

集団の一員としての自覚を高め、協力してよりよい生活を築こうとする自発的・自主的な実践活動を通して、以下のような態度や実践意欲を高めさせる。

### 【学級活動】

学級や学校の生活作り、日常生活や学習への適応及び健康安全。

### 【児童会活動】

集団の一員としての役割・責任と協力

### 【クラブ活動】

創意ある活動への向上意欲、協調性

### 【学校行事】

集団の中での個人のあり方、協力・責任、勤労などの重要性の認識。

## 〔総合的な学習の時間〕

問題解決のために、粘り強く主体的に学ぼうとする態度を育成する。

## 〔外国語活動〕

異なる言語や文化への体験的理解を深め、多様なものの見方や考え方を認め合い、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を育てる。

## 〔教育環境の整備〕

児童の豊かな心を育て、道徳的実践意欲を高めるよう、心に響く環境づくりをする。

- ・望ましい人間関係づくり
- ・言語環境の改善・充実
- ・校内の美化
- ・道徳資料の整備